

2020年5月期 第2四半期決算説明

1. 2020年第2四半期決算のポイント

自動車分野は半導体・電子部品の販売、EMS事業が堅調に推移し前年同期比で売上増加

産業機器分野は、IT機器関連の投資減速の影響などにより前年同期比で売上減少

2020年5月期中間配当は、一株当たり15円の配当を決定

2. 2020年5月期 上期決算概要

売上高

17,818 百万円

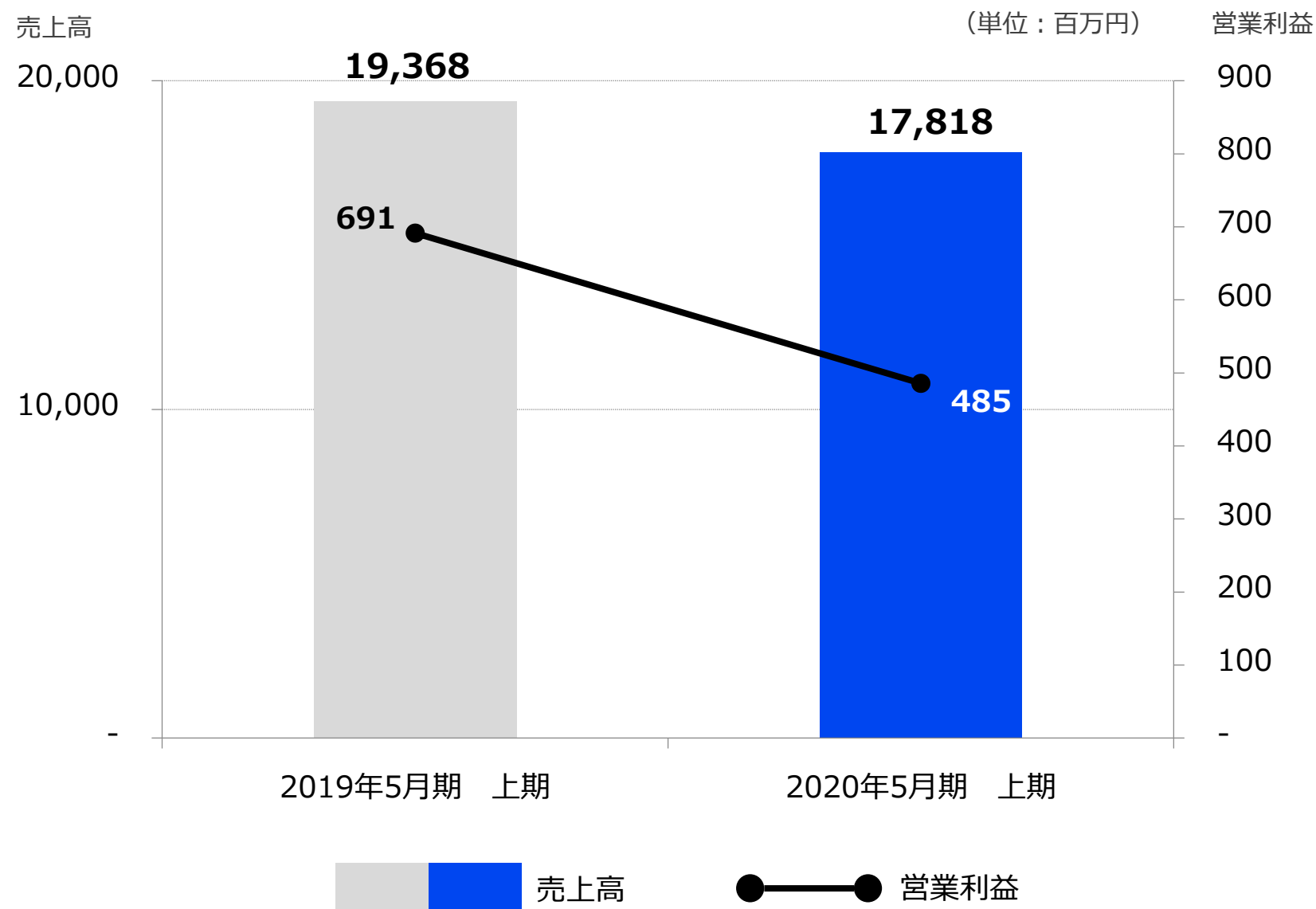
前期比 **8.0%減**



営業利益

485 百万円

前期比 **29.7%減**



3. 2020年5月期 上期決算概要

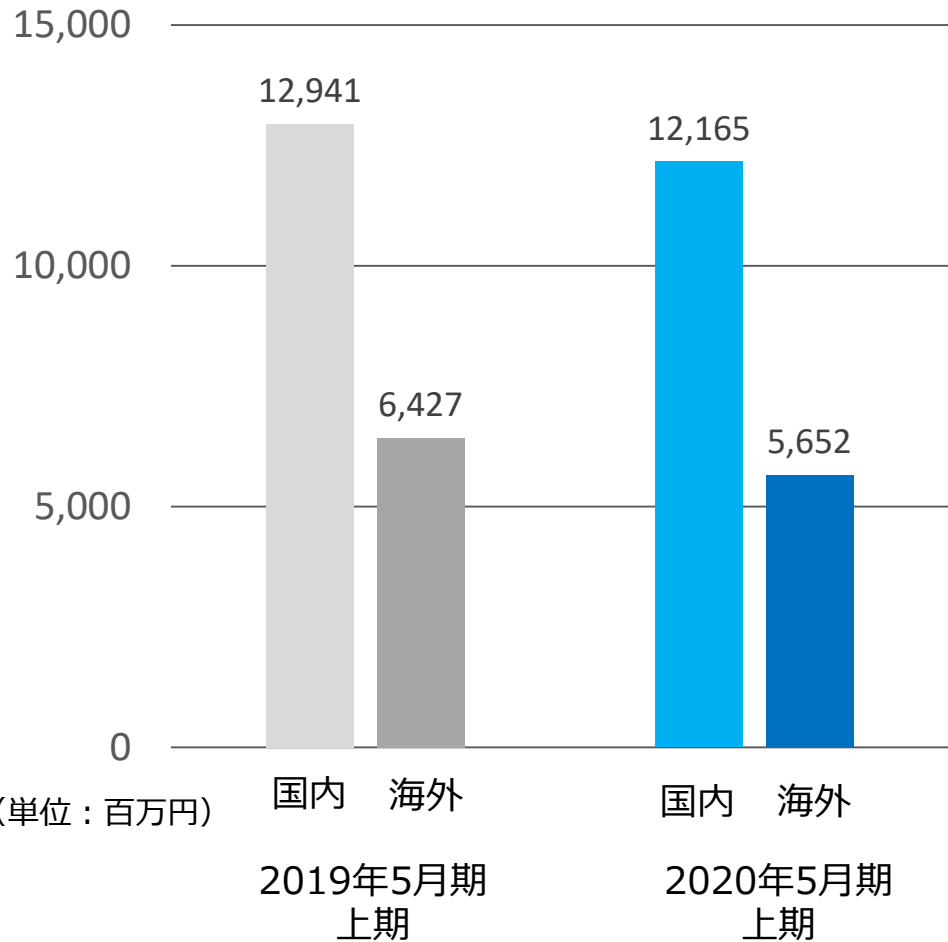
(単位：百万円)	2019年5月期	2020年5月期	前年同期比 増減	2019年5月期	2020年5月期	前年同期比 増減	
	上期決算実績 ('18/6-'18/11)	上期決算実績 ('19/6-'19/11)		上期決算実績 ('18/6-'18/11)	上期決算実績 ('19/6-'19/11)		
売上高	19,368	17,818	△8.0%	1株当たり当期純利益	67.19円	45.65円	△21.54円
売上総利益	1,962	1,710	△12.9%	自己資本当期純利益率	6.2%	3.9%	△2.3%
販売費及び 一般管理費	1,271	1,224	△3.7%	総資産経常利益率	4.6%	3.4%	△1.2%
営業利益	691	485	△29.7%	売上高営業利益率	3.6%	2.7%	△0.8%
経常利益	752	523	△30.4%	総資産	16,192百万円	15,037百万円	△1,154百万円
当期純利益 *	530	360	△32.0%	純資産	8,865百万円	9,257百万円	+ 391百万円
				自己資本比率	54.6%	61.4%	+6.8%
				1株当たり純資産	1,118.47円	1,167.70円	+49.23円

* 親会社株主に帰属する
第2四半期純利益

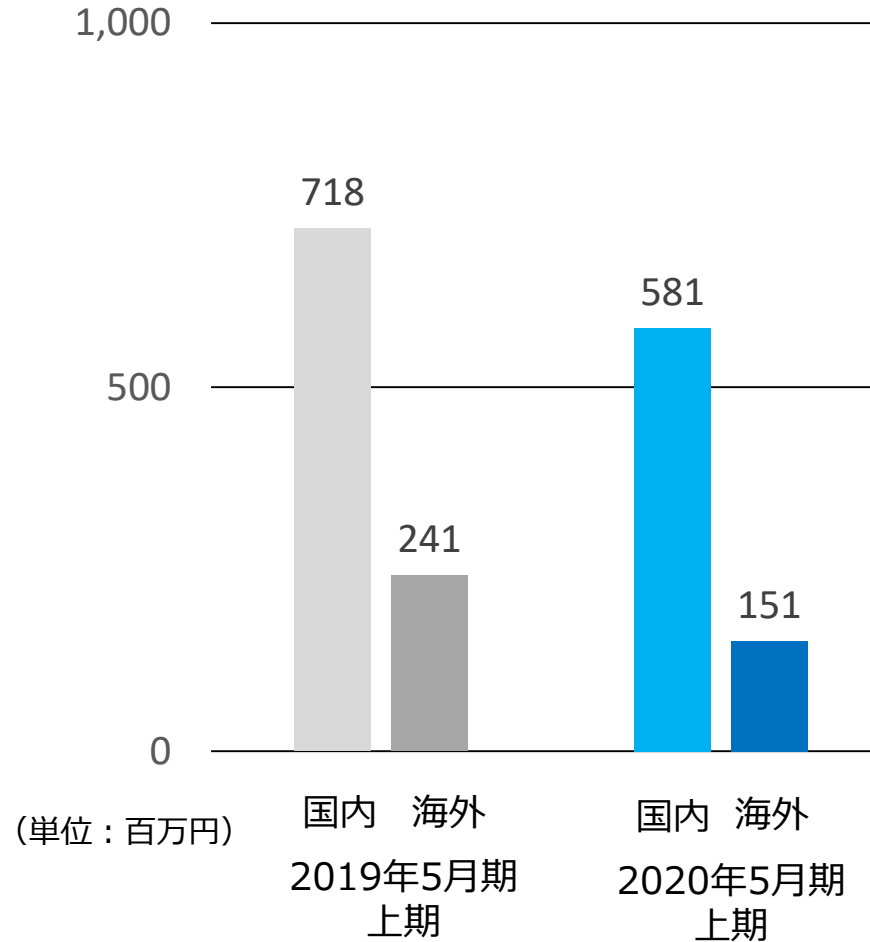
4. セグメント売上高・セグメント利益

2020年5月期 上期実績

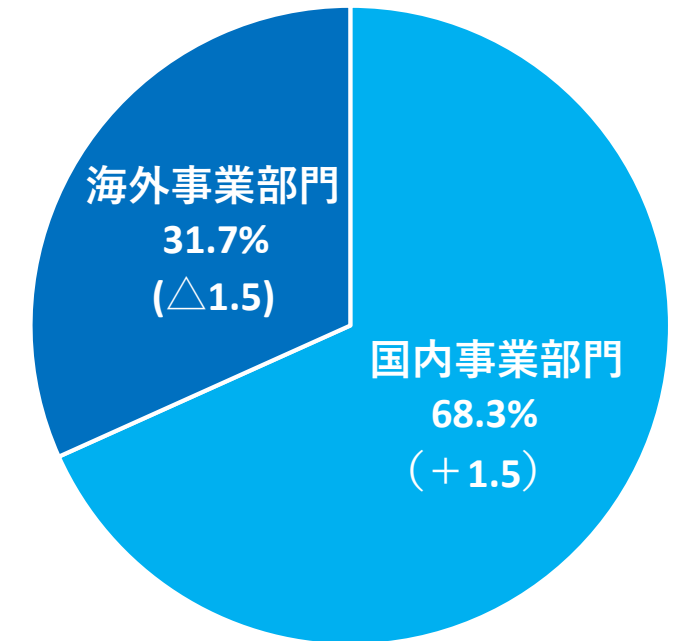
セグメント別売上高



セグメント別利益



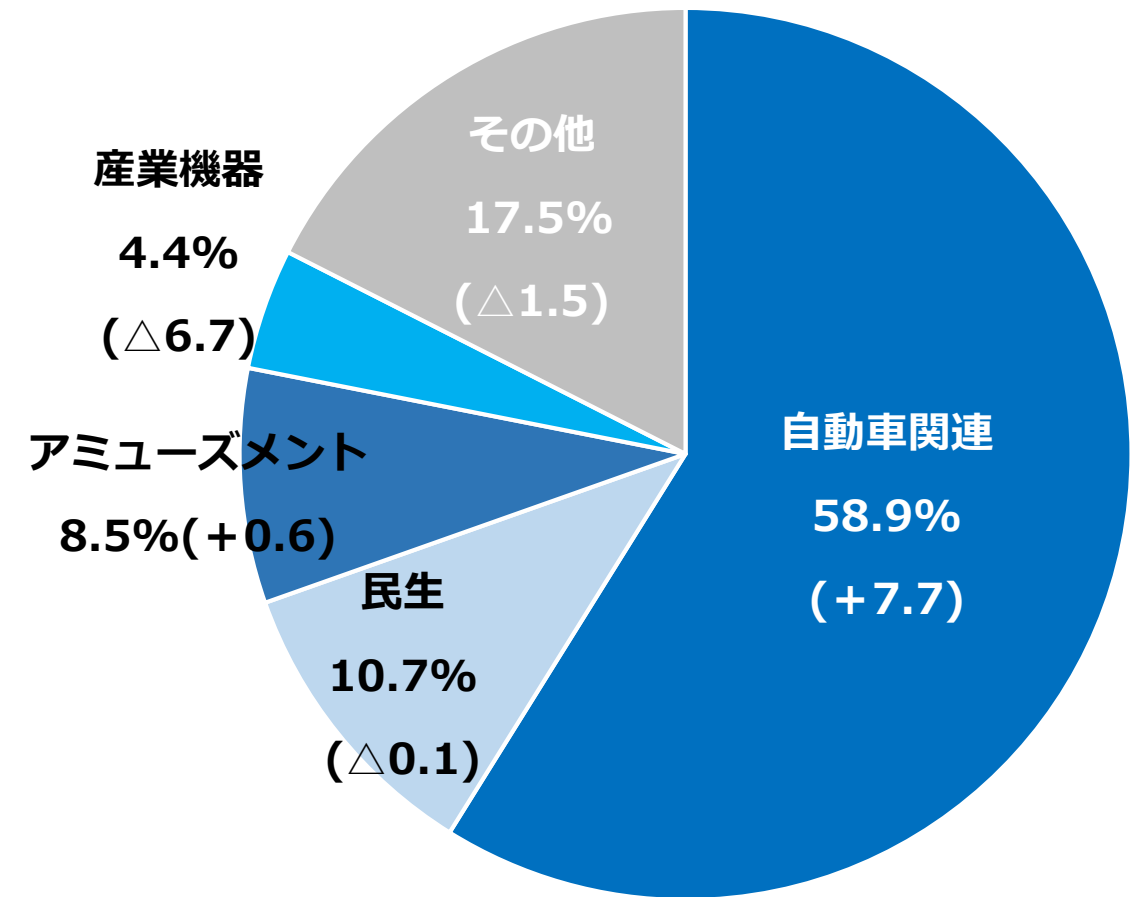
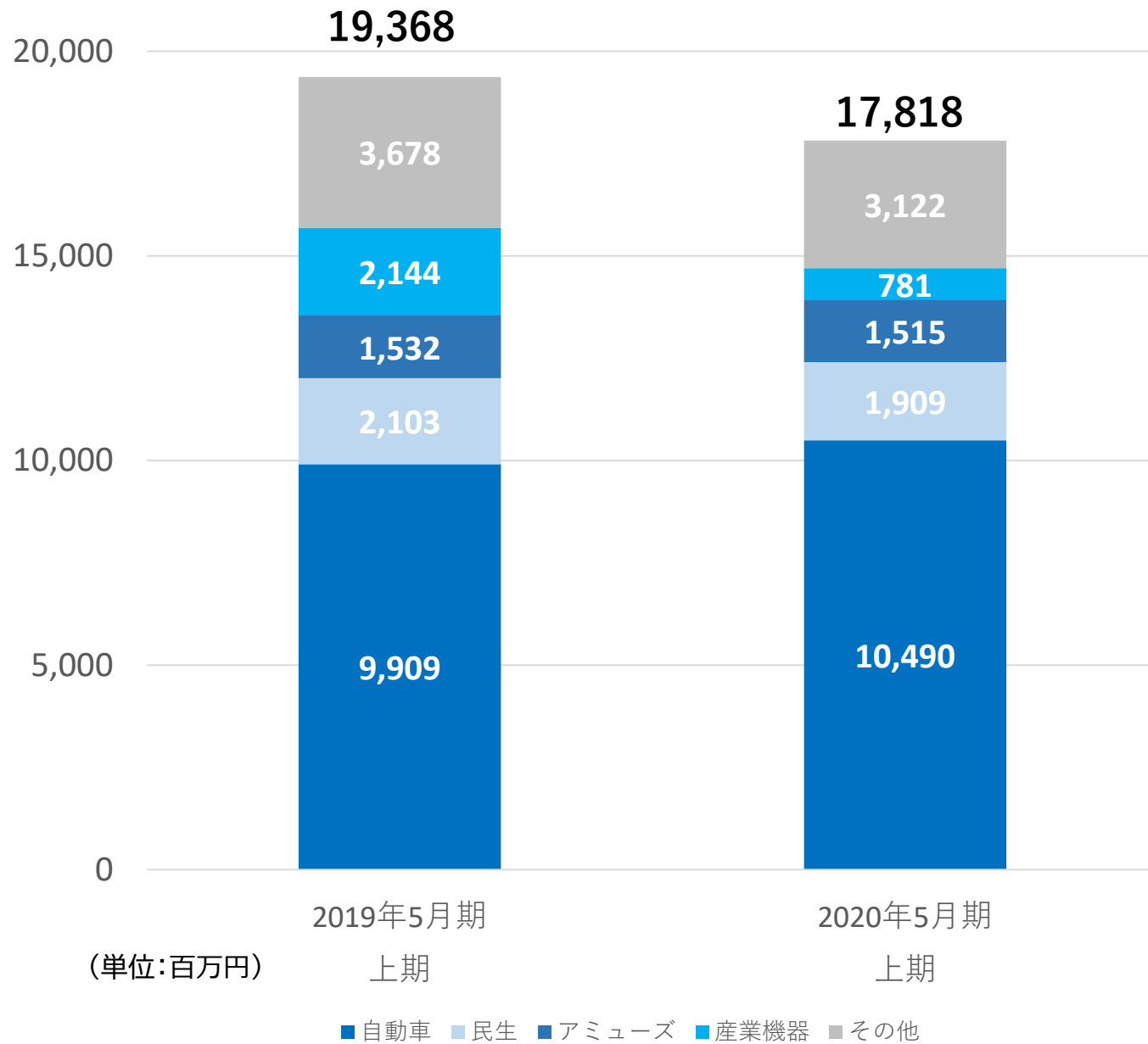
セグメント別売上構成



(括弧内 前年度構成比との増減)

5. (参考) 分野別売上高

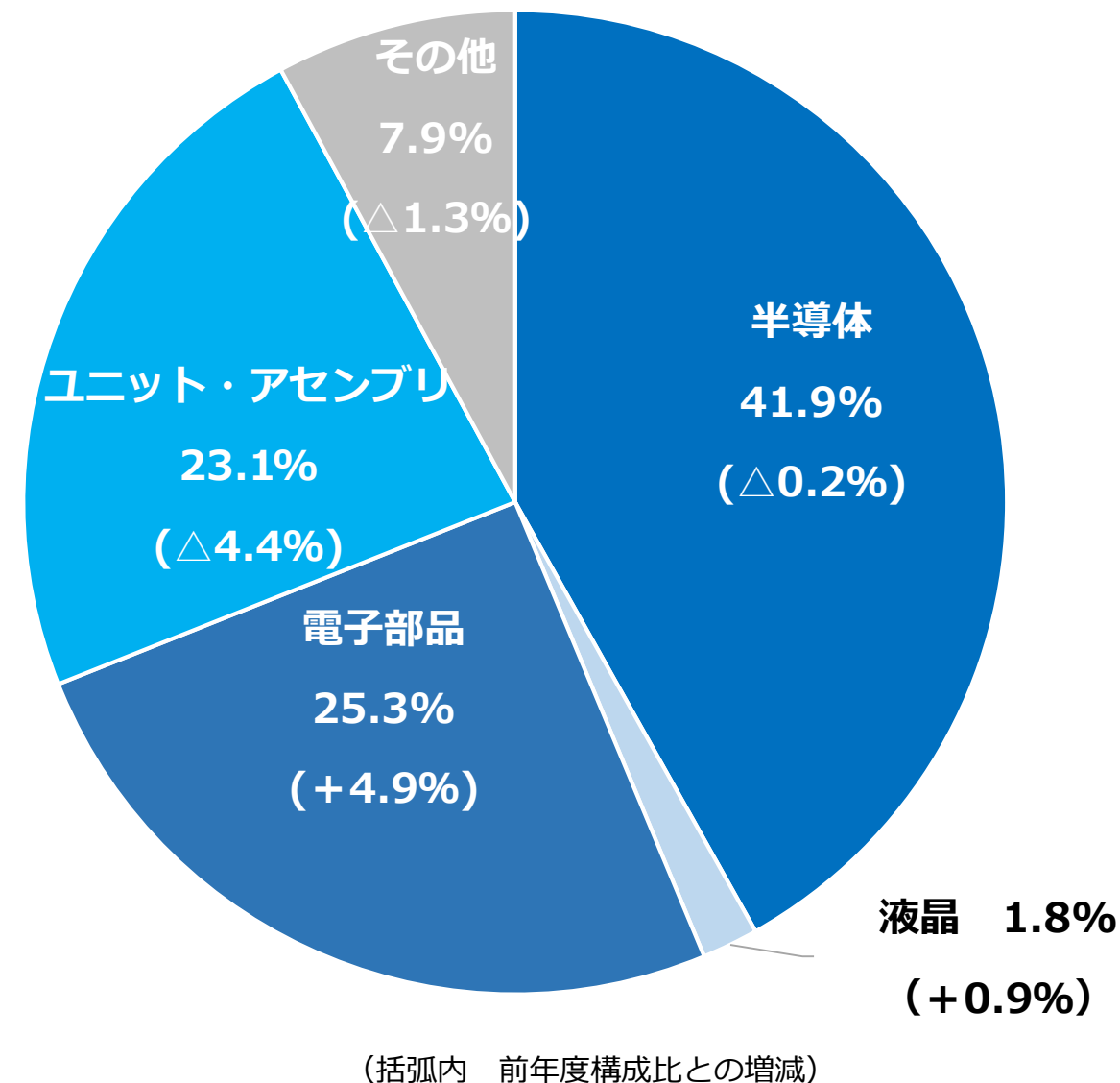
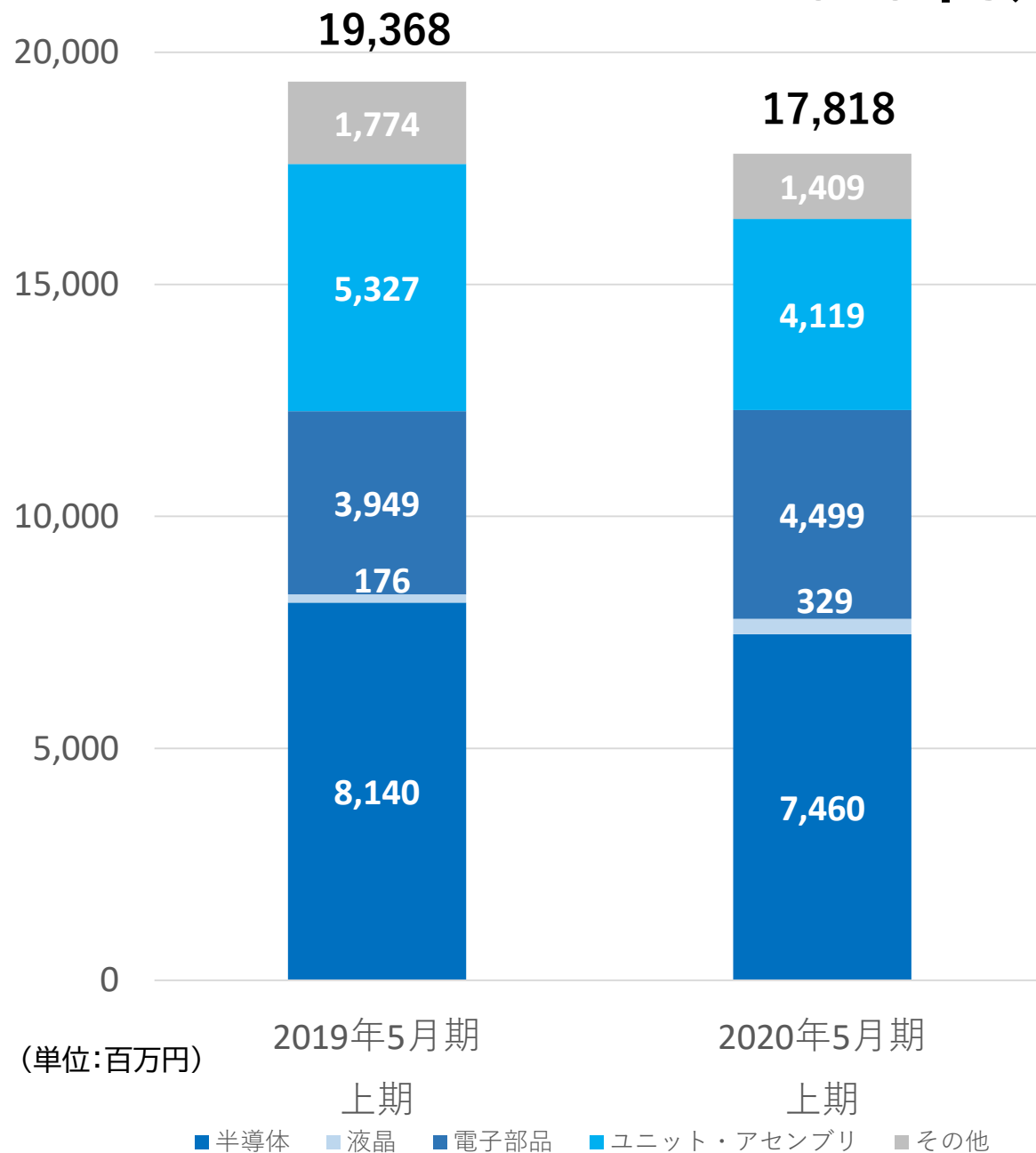
2020年5月期 上期実績



(括弧内 前年度構成比との増減)

6. (参考) 品目別売上高

2020年5月期 上期決算実績



7. 2020年5月期 上期貸借対照表の概要

(単位：百万円)

	2019年5月期 期末実績	2020年5月期 上期末実績	主な増減理由	
資産合計	16,175	15,037	現金及び預金	△197
流動資産	14,440	12,941	たな卸資産	△732
固定資産	1,734	2,096	有形固定資産のその他	+346
負債合計	7,023	5,780	支払手形及び買掛金	△444
流動負債	6,888	5,318	電子記録債務	△459
固定負債	134	462	短期借入金	△690
			固定負債のその他	+327
純資産合計	9,152	9,257	利益剰余金	+242

8. 2020年5月期 上期キャッシュフロー計算書の概要

(単位：百万円)

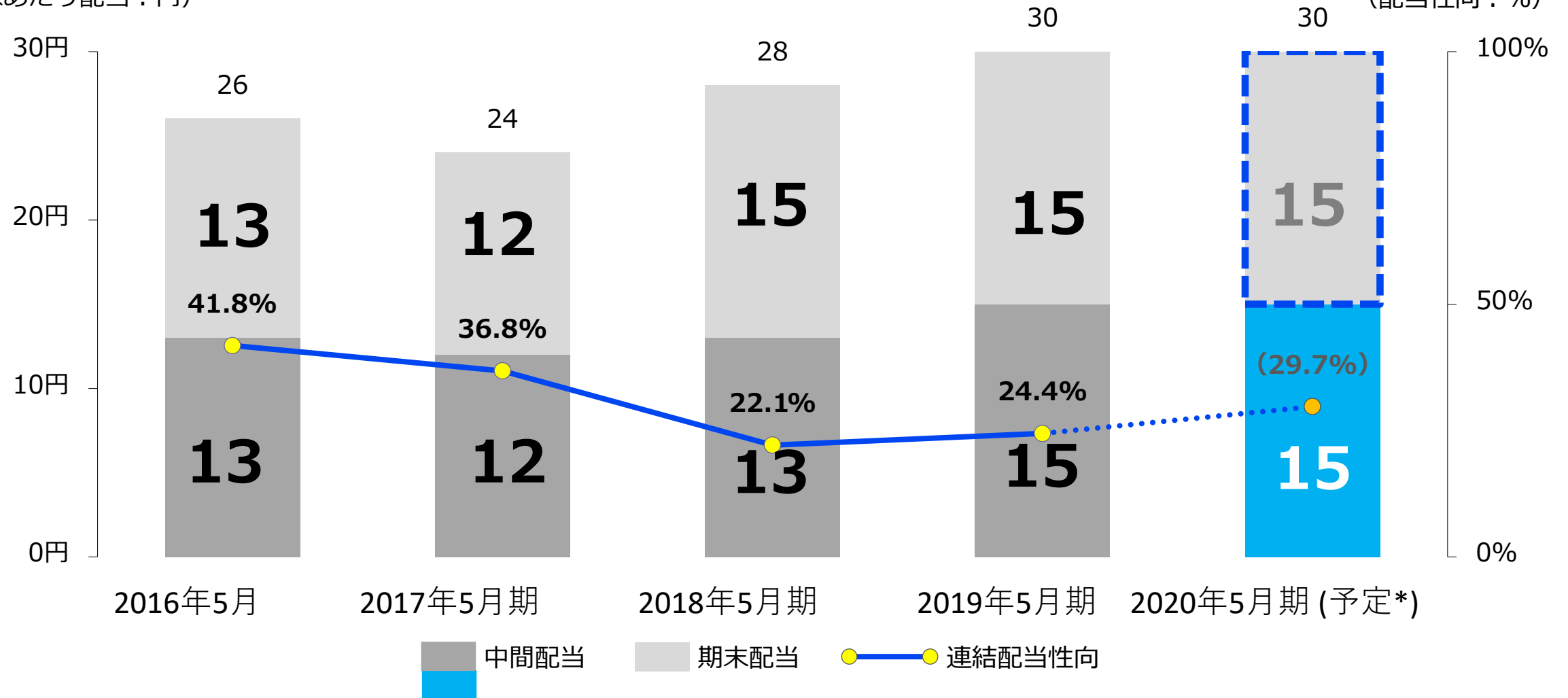
	2019年5月期 上期実績	2020年5月期 上期実績	内 訳	
営業活動によるキャッシュ・フロー	182	748	税金等調整前当期純利益	523
			仕入債務の減少 (△は減少)	△807
			たな卸資産の減少 (△は減少)	△633
投資活動によるキャッシュ・フロー	△93	△85	有形固定資産の取得による支出	△74
財務活動によるキャッシュ・フロー	△229	△822	短期借入金の純増減額の減少 (△は減少)	△682
			配当金の支払額	△118
現金及び現金同等物の増減額	△229	△822		
現金及び現金同等物の期末残高	1,034	1,079		

9. 株主の皆様への還元方針

2020年5月期 年間配当 1株につき30円(予定)

(1株あたり配当：円)

(配当性向：%)



*現時点の予定につき、今後さまざまな要因により、異なる結果となる可能性がございます。

10. 「ミタチ」の由来について

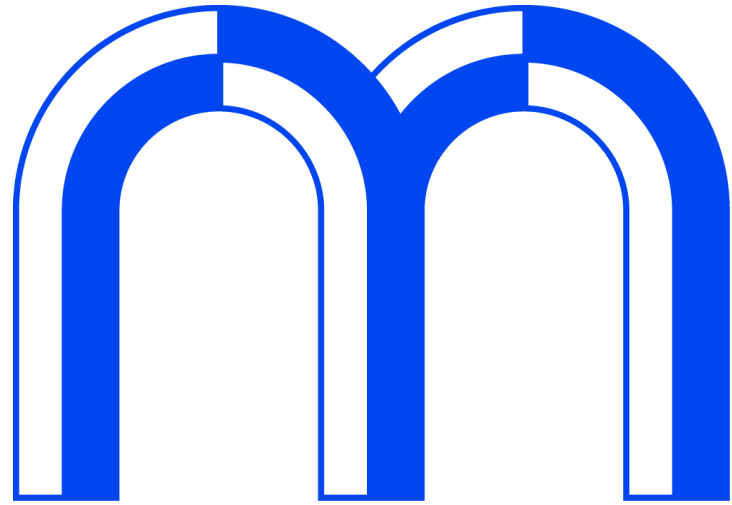
お客様

当社・株主様

仕入先様

当社の社名は三つで成り立つ（お客様、当社、仕入先様）という三位一体の精神に由来しています。

11. 「ミタチ」のシンボルマークについて



ローマ帝国時代に生命をつなぐ水を運ぶ大切な使命を果たした「ガールの水道橋」。2000年の時を超え往時の卓越した技術力を今に伝えるこの橋をモチーフに当社の社章は生まれました。そこにはいつまでもお客様と仕入れ先様をつなぐ架け橋でありたいという思いが込められています。

12. 会社概要及び株式の状況

商号 ミタチ産業株式会社
MITACHI CO., LTD.

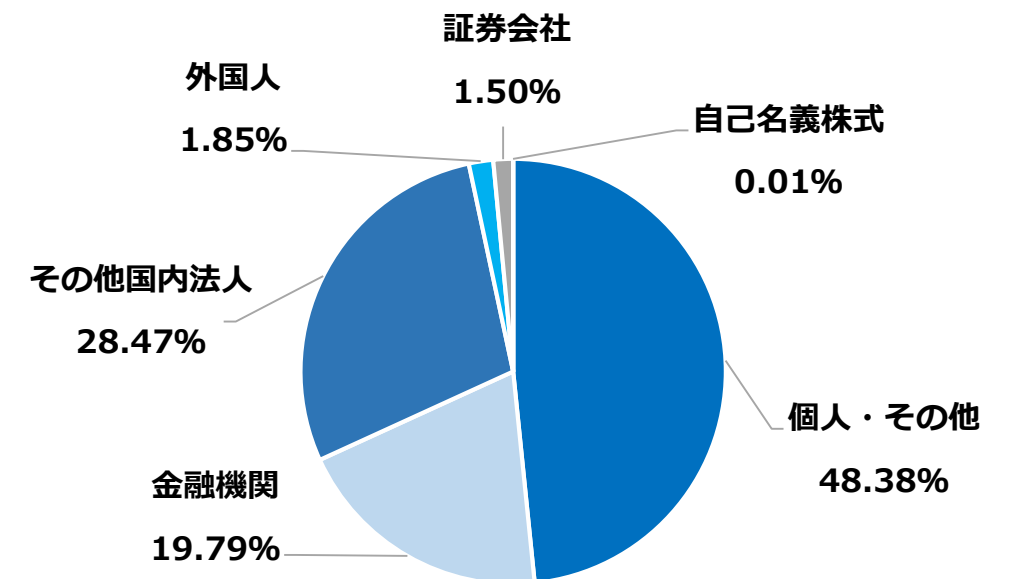
創業 1972年9月（創業47年）
設立 1976年7月
本社 〒460-0026
愛知県名古屋市中区伊勢山二丁目11番28号

資本金 8億1,810万5千円
従業員 連結476名 ※
単体128名 ※（※ 2019年5月末時）

役員 代表取締役社長 橘 和博
常務取締役 奥村浩文
常務取締役 川原康夫
取締役 野村慎一
社外取締役 中浜明光
常勤監査役 大島卓也
社外監査役 松岡正明
社外監査役 渋谷 歩

【大株主の状況】

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社JU	1,844,800	23.34
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	475,600	6.02
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	277,900	3.52
橘和博	223,400	2.83
株式会社三菱UFJ銀行	200,000	2.53
井上銀二	150,000	1.90
井上佐恵子	120,000	1.52
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	112,200	1.42
野中光夫	110,000	1.39
ミタチ産業従業員持株会	108,523	1.37



13. 経営理念

顧客第一主義

満足を得た顧客こそビジネス最大の源泉
お客様の満足が自社の繁栄につながっている経営を行う

一流へのチャレンジ

開かれた近代経営を行い、永遠の企業発展を目指す

企業の社会的貢献

ボランティア、メセナ等で社会に貢献していくことは必要であるが、当社において最も大切な貢献は、毎期利益をあげて税金を納め続けること。そして、社会のルールを守り他人に迷惑を掛けない事業を行うこと

人間尊重

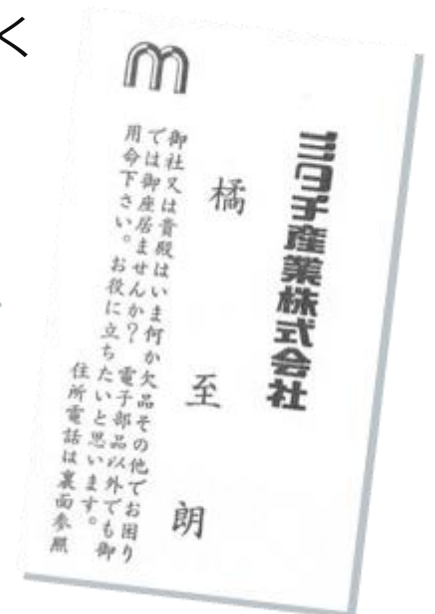
従業員が会社の宝であり財産。お互いに自己を尊重すると同時にあらゆる他人をも尊重する

創造的革新

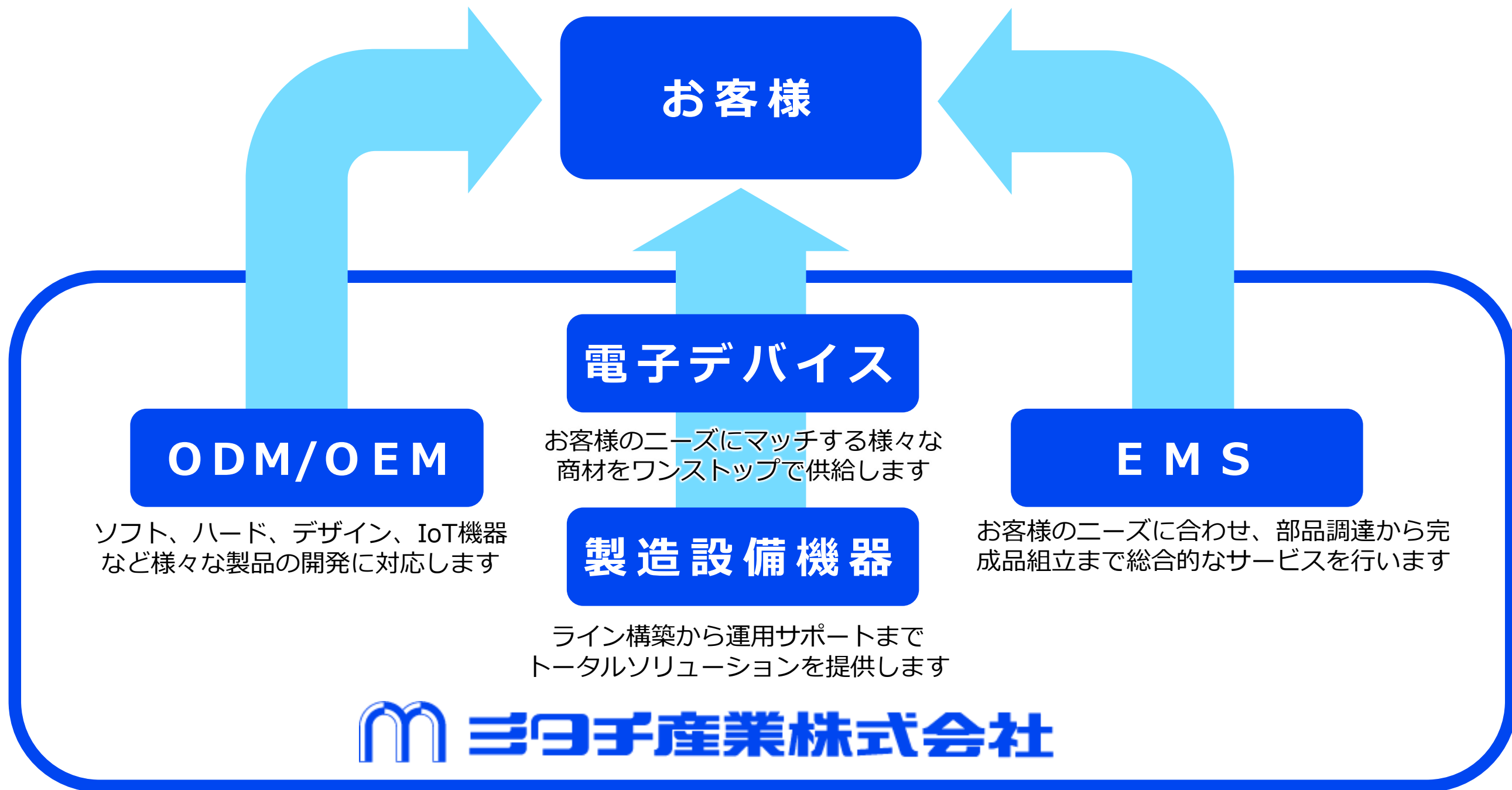
現状に満足せず、常に問題意識をもって自己を厳しく見つめ、絶え間ない変革を遂げていく

創業当時の
名刺

創業当時の名刺にも記されているとおり、「お客様が困っていることを解決しよう！」という熱き思いがミタチの原点です。

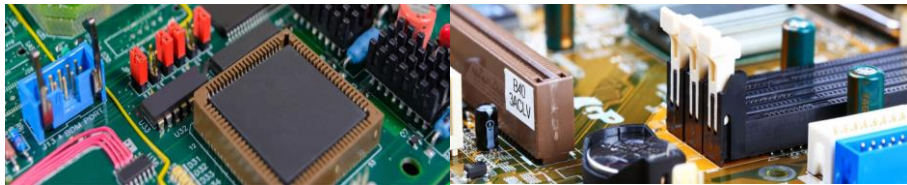


14. 事業内容



15. 事業内容

電子デバイス



汎用半導体からメモリ、システムLSI液晶、電子部品、ユニット基板等の販売
多種多様な商材をワンストップで供給

製造設備機器



表面実装機・印刷機・リフロー槽をはじめとする電子部品実装ライン、検査機、専用自動機、各工場環境機器、消耗材や副資材等の販売

EMS



国内、海外を問わず基板のアッセンブリからユニット、製品の組み立てまで対応

EMS : Electronic manufacturing service 電子機器受託製造サービス

ODM/OEM



ハードウェア、ソフトウェアの設計者、デザイナーを擁し、さまざまな製品の開発・製造に対応

ODM : Original design manufacturing
設計は自社ブランドを持つ発注元が行い、生産だけを受託
OEM : Original equipment manufacturing
製造だけでなく企画・設計も含めて受託

16. 拠点

国内

- ・本社（管理）
- ・本社（営業）
- ・三河支店
- ・東京支店
- ・浜松支店
- ・関西支店
- ・MEテック株式会社
- ・フロア工業株式会社
- ・（三河物流センター）

海外

- ・敏拓吉電子（上海）有限公司
- ・美達奇電子（深圳）有限公司
- ・台湾美達旗股份有限公司
- ・美達奇（香港）有限会社
- ・MITACHI (THAILAND) CO.,LTD.
- ・PT. MITACHI INDONESIA
- ・M.A. TECHNOLOGY, INC.
- ・MALAYSIA REPRESENTATIVE OFFICE



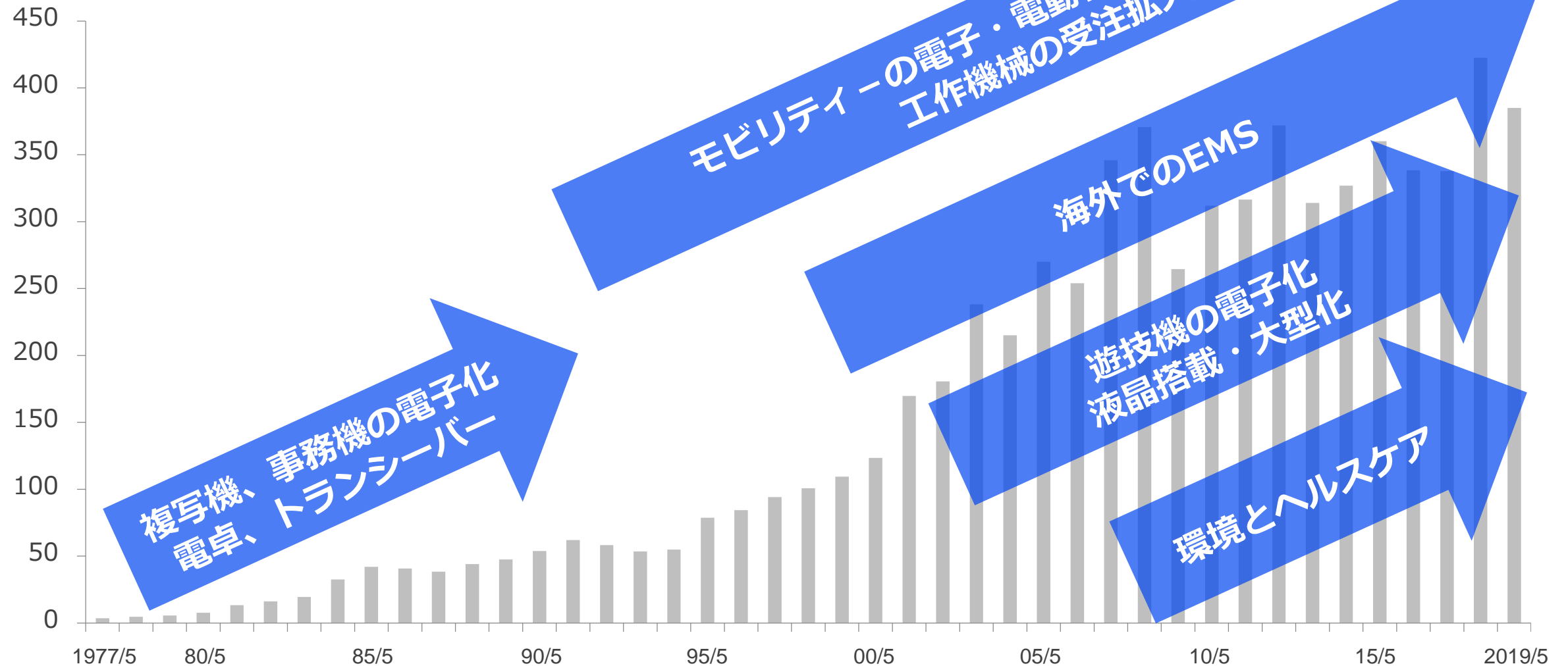
国内拠点数：8 拠点

海外拠点数：8 拠点

17. 事業の変遷および業績推移

当社は時代のニーズに合わせて自らを変革し、
発展を遂げてまいりました

(売上高：億円)



18. 中期経営計画 重点施策

コアビジネスの強化・拡大

- 自動車、産業機器分野へのさらなるビジネスの探求
- 海外拠点の強化
- EMS、IoTなどソリューションビジネスの強化

新規ビジネスへのチャレンジ

- 新しい事業分野への挑戦
- 得意な分野を有するパートナーとの協業

経営基盤の強化

- 人材育成の充実
- IT活用による販管費の削減
- グループの再編

19. ミタチ産業のCSR

ミタチグループのSDGs

従業員の能力開発を通し、社会貢献を果たす人材の育成への取り組み

男性も女性も平等に、子育てや介護などの事情にあわせ働きがいある職場を目指します

LED照明やエコ床暖房、省電力電子部品の販売で環境負荷低減に貢献

在庫の適正化で廃棄物のロス最小化を目指していきます

エコキャップ運動などへの参加や、セーフティー運転への全社啓蒙を実施



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

当社グループは経営理念であります、顧客第一主義、人間尊重、一流へのチャレンジ、創造的革新、企業の社会貢献をもとに、グループの各社、各人が時代や地域を超え価値観や倫理観を共有し連携を図ることで、持続的な成長を続けてまいります。

近年、ESGの観点から長期的な企業成長にとって重要性を増しており、ミタチ産業グループにおいても、ESGの視点に立ちCSR活動を推進し、持続可能な成長を支える基盤づくりを進めてまいります。今後は国際社会の共通目標であります。

SDGs(Sustainable Development Goals)を意識し、社会課題に対し貢献していける企業グループを目指していきます。

※本資料は、当社が現時点で把握可能な情報に基づいて判断した業績予想を記載しており潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがあります。

決算資料

IR資料室

ホームページ

お問い合わせに関する窓口



 **三ツ子産業株式会社**

経営企画室

TEL : 052-332-2596

FAX : 052-332-2536

HP : <https://www.mitachi.co.jp>